

平成30年6月市議会定例会 企画管理部 議案説明資料

目次

[予算案件]

- | | | |
|---|-------------------|----|
| 1 | 平成30年6月歳出予算(案)総括表 | 1頁 |
| 2 | 文化事業基金費 | 2頁 |

[条例案件]

- | | | |
|---|------------------------|----|
| 3 | 富山市職員の自己啓発等休業に関する条例の制定 | 3頁 |
|---|------------------------|----|

[予算案件]

1 平成30年6月歳出予算(案)総括表

[一般会計]

(単位：千円)

区分 予算科目	補正前の額 A	補正額 B	補正後の額 A+B
企画管理部 合計	9,087,099	233	9,087,332
(款2) 総務費	9,087,099	233	9,087,332
(項1) 総務管理費	4,262,273		4,262,273
(項2) 企画費	4,762,560	233	4,762,793
(項6) 統計調査費	48,266		48,266
(項7) 監査委員費	14,000		14,000

〔文化振興事業費〕

2 文化事業基金費

〔文化国際課〕

1 趣 旨

富山市芸術文化ホール内に設置され、平成24年3月末に廃止された「とやままちづくり情報センター」が保管していた物品のうち、レーザーディスクについて、公有財産の有効活用の観点から官公庁オークションにより売却した。

その売却収入を文化施設の整備及び各種文化事業の充実に活用するため、富山市文化事業基金へ積立てるもの。

2 事業内容

平成29年度末に確定した売却収入金額を年度繰越分として富山市文化事業基金に積立てるもの。

3 予算額 233千円

(財源内訳)

- ・一般財源(前年度雑入繰越分) 233千円

【参考：富山市文化事業基金の残高状況】

平成30年5月末残高	338,126 千円
今回積立予定額(平成30年6月補正分)	233 千円
平成30年6月補正後予定残高	338,359 千円

[条例案件]

3 富山市職員の自己啓発等休業に関する条例の制定

〔職員課〕

1 趣 旨

富山市職員の分限に関する条例の規定に基づき運用している長期の自主研修に係る休職の取扱いについて、高度で専門的な行政課題に対応できる多様な人材の確保や育成につなげるため、対象とする自主研修活動の範囲や手続きを明確に規定することで、職員の積極的な自己啓発への取組みを促し、人材育成の一層の推進を図るもの。

2 概 要

(1) 制度内容

職員が、大学等における修学や国際貢献活動のために3年を限度として、職員の身分を保有したまま職務に従事しないことを認めるもの

(2) 対象となる職員

職員としての在職期間が3年以上の職員

(3) 対象とする活動

ア 大学等教育施設の課程に在学してその課程を履修する場合

イ 独立行政法人国際協力機構が自ら行う派遣業務の目的となる開発途上地域における奉仕活動に参加する場合

(4) 休業の期間

3年以内

(5) 給与の取扱い

給与は支給しない

(6) 附則で、次の条例の改正を行う。

ア 富山市職員定数条例の一部改正

職員の定数の外にあるものとする職員に、自己啓発等休業中の職員を加える。

イ 富山市職員の分限に関する条例の一部改正

大学等教育施設の課程に在学してその課程を履修する場合の休職の規定を削除する。

ウ 富山市公営企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部改正

公営企業職員が自己啓発等休業をしている期間については、給与を支給しないことを規定。

3 施行期日

平成30年7月1日